

フィンドレー大学 アニマルハンドリングプログラム報告書

21361081 若櫻祐衣

私は1年生の時から短期留学がしたいと考えていて、説明会にも何回か行っていたのでこのプログラムのことは知っていました。語学留学ではなく動物に関わる留学がしたかったのでこのプログラムがぴったりだと思い、ずっと行きたいなと思っていました。去年フィンドレーから酪農に来た学生一度だけ会う機会があり、さらに行きたいと思うようになりました。実際に行ってみて、思ったより楽しくて、大変なこともありましたが色々と得ることができました。

・ Western barn

毎朝6時頃に起きて6時半のバスでAMUを出発し Western barn へ行きました。そこでは馬学部2年目の学生さんと一緒に馬の餌やりとグルーミングをしました。若い馬の breaking (トレーニング) をする授業で、餌やりとグルーミングのあと、生徒は馬に乗ってトレーニングをしていました。その間私たちは他の馬の餌やり、掃除をし、生徒の様子を見学しました。生徒について餌やりをする以外に Barn Manager である Linda についてまわり薬のことや投与方法を教えてもらいました。火曜日と木曜日は Dr.Hass がやっている馬の治療を見学し、水曜日は乗馬をさせていただきました。乗馬を体験するのは初めてだったので、2回もやらせていただけてすごく嬉しかったです。正直わたしは馬に特別興味があったわけではないのですが、ここでの経験を経て馬がすごく好きになりました。ここでは Linda がすべて Dr.Hass のところに行く手配などしてくださいました。Linda にはとてもお世話になり、最後の日は Linda から T シャツなどいただきました。



- Dr.Kerns

午前中の Western barn のあとは Henderson で昼食をとってから、午後は Dr.Kerns の授業でした。フィンドレーの Animal Science/Pre-vet 専攻の学生と授業を受けました。1 時間目は Western barn で馬の治療法などを学び、2 時間目は Animal Science Building で豚や、山羊、牛の去勢などをしました。授業は基本的に 15 分遅れで始まり、教室で 10 分ほどこれからやることの説明をスライドでしてから実践するというスタイルでした。わたしたちは生徒がスライドで説明聞いている間に先に準備をし、口頭で説明してもらいました。授業は Dr.Kerns 一人では全員を見られないので、基本的に TA (Teacher's Assistant) というのが何人かいて全員を見られるようにしていました。TA はみなさん生徒で特別なトレーニングを受け TA というバイトをできるようになるみたいです。この授業システムはすごくいいなと思いました。聞いたところによると Pre-vet のある大学でフィンドレー大学ほど実際に動物と触れ合っさせてもらえる大学はアメリカでも珍しいようです。日本でもなかなかできないことなので、このような貴重な体験ができてすごく良かったなと思います。最初からわたしもフィンドレー大学に入学したかったなあと少し思いました。



Friday night では 17 時半から Western barn にある教室に集合しみんなでピザを食べました。結紮のやり方を教わり、その後猫の去勢と避妊をしました。この猫は学生の猫だったり、安くやっているかわりに Dr.Kerns の TA やインターンの生徒が処置を行っています。はじめての猫の去勢はとても小さい精巢で、はじめての避妊は妊娠している猫で 6 匹もおなかにはいましたが子宮ごと取りました。とても貴重な体験でした。猫以外には馬の採血や筋肉注射、皮下注射を

やらせていただきました。その後、みんなでゴルフカートに乗って **Animal Science Building** へ移動し、羊の去勢をさせていただきました。全部が終わるのは夜中の2時3時でしたが、とても楽しくて **TA** と過ごしたのが一番の思い出です。最後の日には **T** シャツやアルバム、写真の入った **USB** を頂きました。



・ Dr. Whitaker

金曜日の午後は **Dr. Kerns** の授業ではなく、**Dr. Whitaker** の研究室に行きました。研究室の生徒である **Jaelyn** にとても優しくしていただきました。ここは豚繁殖学の研究室であり、元気な精子を採取する方法を試したり豚の卵巣から卵子を採取したりしました。**Dr. Whitaker** にはこの研究室以外でもとてもお世話になりました。土曜日には **Dr. Beckett** の病院を見学し **Columbus Zoo** に行き、モールに行きましたが、**Dr. Whitaker** が運転をしてくれました。もともとのスケジ

ルールにはなかったのですが日曜日にはホッキーゲームに連れて行ってもらいました。研究室で話している時にホッキーゲームに行こうという話になり、**Dr. Whitaker** は熱心なホッキーファンであり全部のゲームに行っているらしくもともと行く予定だったみたいです。**Toledo** まで運転していただきました。はじめてのホッキーゲームは、ルールは全くわからなかったものすごく楽しめました。**Jaelyn** がよくしゃべる子で、色々とおすすめの場所を教えてくださいました。ホッキーゲームを提案してくれたのもその子で、ローラースケートも提案してくれて **Joni** や **Cassie** と一緒に行きました。



・ Challenged Champion

毎週水曜日の夜6時から2時間ここでボランティアとしてセッションに参加しました。ホースセラピーにはすごく興味があったのですが実際にどうしているのかは見たことがなく、知識はなかったのもとても興味深かったです。日本ではどうしているのか未だに知らないのを見に行き行って違いを見たいなと思いました。



最後に、本当にこのプログラムに参加できてよかったと思います。色々な経験もさせていただき、一生の友達を得ることもできたと思います。フィンドレーの方々本当に優しく、運転などしてくれたアーネストをはじめ、5月に酪農学園大学に来る学生の方々、去年来た方々、先生方、生徒の皆さん、感謝でいっぱいです。絶対にフィンドレーで出会った人たちに会いにまた遊びに行きたいと思います。今回一緒にプログラムに参加したメンバーもバランスがとれていて良かったなと感じています。もちろん大変なこともありますが、全体にいい経験ができたと思っています。私自身1年生の時からこのプログラムのことは知っていましたが、行ったのが今年で良かったと思いました。